

令和7年度 町民スキー大会開催要項

- 1 目 的 冬季体力づくりの一環として、スキー競技や雪上で気軽にできるレクリエーションを通して、ウインタースポーツの意識の高揚と親睦を図るとともに健康維持増進を図る。また、学校教育との連携により学社融合事業として推進する。
- 2 期 日 令和8年2月14日（土）
【開催判断について】
① 朝6時東ヶ丘スキー場管理棟前集合
対応者：体育館…田村補佐、丹主任
② 中止の判断を下した場合は、告知端末でお知らせ（7：30放送予定）
※ 連絡関係については、7時過ぎに各自宅に連絡。（連絡がつかない場合は、現地にて連絡）
- 3 場 所 幌延町東ヶ丘スキー場
- 4 主 催 幌延町教育委員会
- 5 後 援 幌延町スポーツ協会、幌延町スキー協会
- 6 対 象 町 民
- 7 日 程 8：00 係集合、準備開始
9：00～ 9：25 受付（そり）
9：30～ 9：40 開会式
10：00～12：25 競技開始
① 小学1・2年生競技開始
② 小学3・4年生競技開始
③ 小学5・6年生競技開始
④ 一般・親子競技開始
⑤ そり競技開始（親子、小学1・2年生）
12：30 終 了 ※閉会式は行わない
12：35 後片付け
※ 終了後開放（現地解散）

【日程変更の対応】

（1）日程の変更が生じた場合の対応について

- ① 放送にて対応（拡声器マイク対応）

8 種 目

(1) 学校関係

① 大回転の部

- ・ 小学1年生（男女共通）
- ・ 小学2年生（男女共通）
- ・ 小学3・4年生（男・女）
- ・ 小学5・6年生（男・女）

② そり競技

- ・ 小学1・2年生（男・女）

※ 大回転競技で各学年スタート位置から滑走できない児童については、オープン競技として滑走可能な場所から行う。

※ オープン競技の滑走場所の指定については、各学校で対応することとする。（スタート位置の設定及びスタートコール）

(2) 一般参加

① 大回転の部

- A 一般の部（中学生以上）（男・女） C 親子そり（乳幼児）
B 親子ペアー

② そり競技

※ 親子ペアーは、子どもと親の合計タイムで順位を決定する。

9 係分担

(1) 競技時

※

係 名	内 容
全体進行	全体の進行。
スタート係	各競技コース設定・スタート合図。選手確認。
発送係	そり競技発送・取りまとめ。
旗門・コース係	旗門通過確認。コース場の荒れ地整備。
計時係	各部門タイム計測。大回転2計2組・そり1計
記録係	各部門タイム記録。集計係に連絡
写真係	各部門記録写真撮影。
集計係	各部門記録を集計し順位を決定。
放送係	各部門選手紹介。各部門集合合図。
救護係	児童生徒健康観察及び事故時応急処置。
受付係	選手受付・ゼッケン配布。
フリー	随時対応
児童係	練習時等対応。
合 計	

◎・△・□印は係を兼務する。

※ 救護係については、何もない場合児童係の手伝いを行う。（養護教諭）

※ 児童係練習時の対応について（不足時は救護係が応援）

① 準備体操終了後、打合せ中に練習の対応を行う。（リフト側より1年生から整列）

② リフトは小学1年生から乗車し、スタート地点に移動したら滑走させる。（全員並んで滑走するようにする。）

※ 各学年スタート地点からスタートできない児童の対応は、各学校で担当を決めること。

(2) 事前準備 (2/13 (金))

テント (2張～3張) 関係用具類、そり

※ 役場車庫からテント運搬。運搬したテントは管理棟物置に保管。

(3) 当日準備

係 名	内 容
スタート係等	大回転競技ポールセット
旗門・コース係	各スタート位置設置及びポール旗付け
計時係・発送係 記録係・写真係 集計係・放送係	そりコース設置及びスタート台設置。 テント設置。長机、椅子、コンロ設置 ※ ある程度の時間で、そりコース対応
合 計	

※ 早く終了した係については、終了していない箇所の手伝いを行う。

※ ゴールはポールを左右2本セットし、ラインは赤スプレーにて印をつける。

(4) 当日後片付け

① テント及び用具関係については、全て借用場所に返却する。

→翌日の通常営業に支障をきたすため

② 記録集計表のみ総合体育館

10 プログラム (放送順番)

- | | | | |
|---|------|--------------|-----|
| ① | 大回転 | 小学1年生男女共通 | 1回目 |
| ② | 大回転 | 小学2年生男女共通 | 1回目 |
| ③ | 大回転 | 小学1年生男女共通 | 2回目 |
| ④ | 大回転 | 小学2年生男女共通 | 2回目 |
| ⑤ | 大回転 | 小学3・4年女子 | 1回目 |
| ⑥ | 大回転 | 小学3・4年男子 | 1回目 |
| ⑦ | 大回転 | 小学3・4年女子 | 2回目 |
| ⑧ | 大回転 | 小学3・4年男子 | 2回目 |
| ⑨ | 大回転 | 小学5・6年女子 | 1回目 |
| ⑩ | 大回転 | 小学5・6年男子 | 1回目 |
| ⑪ | 大回転 | 小学5・6年女子 | 2回目 |
| ⑫ | 大回転 | 小学5・6年男子 | 2回目 |
| ⑬ | 大回転 | 一般女子 (中以上) | 1回目 |
| ⑭ | 大回転 | 一般女子 (中以上) | 2回目 |
| ⑮ | 大回転 | 一般男子 (中以上) | 1回目 |
| ⑯ | 大回転 | 一般男子 (中以上) | 2回目 |
| ⑰ | 大回転 | 親子ペアー | |
| ⑱ | そり競技 | 親子ペアー、小学1・2年 | |

※ そり競技については、大回転と同時進行にて行う。早めに進行できる場合は臨機応変に対応。

※ 小学3年生以上については、スタート位置集合の放送が入るので、放送後スタート位置に集合すること。

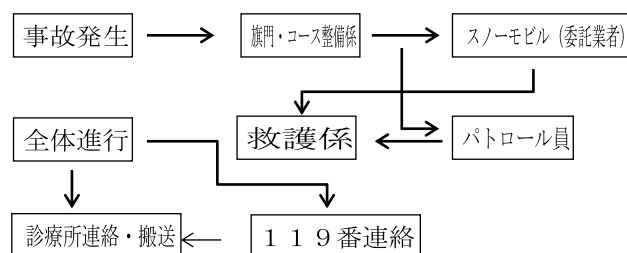
※ 大回転競技 (親子ペアーは除く) は2回滑走するので、1回目の滑走終了後速やかにリフトに乗車しスタート地点に行くこと。

※ 大回転親子ペアーのスタートについて、大人は山頂からのスタートとし、子どもは参加状況を確認後、臨機応変にスタート地点を設定する。

1 1 各係連携図

(1) 競技関係連携図：別紙資料参照

(2) 緊急連絡体制



- ① 事故発生。旗門係確認及び人員の要請。
- ② パトロール員現場集合。
- ③ 委託業者モービルで現場集合。
- ④ 処置終了後パトロール員にて管理棟に搬送。
- ⑤ 救護係に引き継ぐ。
- ⑥ 現場責任者及び救護係診療所搬送判断。
- ⑦ 診療所搬送

※ ②③の時点にて救急車が必要な場合は全体進行に連絡し、救急車出動の連絡を入れる。その際管理棟には運ばず、直接救急車に搬送する。（名前等の状況報告の引継を忘れずに行う。）

※ 各任務終了後持ち場に戻り、競技を再開する。

※ 診療所搬送時は、消防に連絡し救急車にて対応する。（消防への連絡は田村補佐）

1 2 会場図 別紙資料参照

1 3 開・閉会式（司会：田村補佐）

（開会式）

- ① 大会長挨拶（伊藤教育長）
- ② 審判長注意（スキー協会）

※ 開会式はスキーを履いて行う。並ぶ順番はリフト側から小学1年生となる。

※ 開会式終了後に準備体操を行う。（担当：濱下主任）

※ 閉会式は行わず、解散とする。

※ 成績発表を行わないため、後日学校で伝達式を行う形とする。

1 4 競技規則

(1) 全日本スキー連盟競技規則に準ずる。

(2) 大回転競技については2回滑走の内、速いほうのタイムを正式タイムとする。

(3) タイム計時については100分の1秒にて行う。尚、計時係は2計の遅いタイムを正式タイムとする。

(4) 同タイム時の順位の決定は後走者を上位とする。

(5) スタート間隔については30秒おきにスタート予定とする。尚、1分以上滑走にかかる選手がいた場合は、選手ゴール後スタートとする。

【スタートが遅れる場合の指示については、丹主任よりスタート係に連絡を入れる。】

(6) 前走者が転倒等にて、後走スタート者の滑走を妨げた場合はリスタートを認める。

1 5 表彰

(1) 各部門1位までに賞状及びメダルを贈呈する。

(2) 各部門3位までの入賞者に賞状を贈呈する。

(3) 大回転の部（一般の部：中学生のみ対象）にはメダルを贈呈。

1 6 周知方法

- (1) 各施設にポスター掲示。(申し込み用紙含む)
- (2) 町立小中学校に参加依頼文書発送。
- (3) 告知端末機での周知。
- (4) ホームページに要項、ポスター、申込用紙を掲載。

1 7 申し込み 2月10日(火)までに教育委員会、総合体育館、東ヶ丘スキー場管理棟、生涯学習センターに申し込み。

1 8 その他

- (1) 発送順(各学校から提出後)については体育館側にて決定する。
- (2) 児童の荷物については、各学年ともテント内にまとめて置いておくこととする。
- (3) 競技がないときは開いている場所を自由に滑走し、選手の妨げにならないよう練習をお願いする。
- (4) 乳幼児参加のそり競技については、おやつを配布する。
- (5) 保護者の方の駐車場については、総合体育館・幌延町役場・幌延小学校の駐車場を利用。道路センター、消防及び北電事務所前には駐車不可。また、路上駐車は厳禁とする。
- (7) 係員の駐車場については、会場内に駐車スペースを設けているが、満車時は総合体育館・幌延町役場・幌延小学校の駐車場を利用。

1 9 学校が担当すること

- (1) 出場選手報告(滑走順)
 - ※ 各部門(学年関係なし)上手な児童を後からスタートできるように対応願う。(コースが荒れていくので滑走が難しい状況となるため)
- (2) 記録証作成時は学校で対応
- (3) 係員配置及び事前準備ができる教諭の連絡:前日も含む
- (4) 各係必要な用具の持参
- (5) 学級通信にて大会PR:駐車場の連絡等(特に周知徹底してください。)
- (6) 不足用具等の借用(ストップウォッチ、トランシーバー4個) ※ 幌小
- (7) 児童のゼッケン配布・回収
 - ※ ゼッケン返却については、当日回収します。
- (8) 大会数日前の児童生徒健康観察

2 0 スキー協会が担当すること

- (1) 当日出席できる人数及び名前の報告(5名程度)
- (2) 会員に内容の周知を行う。
- (3) 開会式時に審判長注意